

第2回 デザインワークショップ

千葉大学の建築学生と一緒に！

「平岡交流センター 中高生のための居場所づくりプロジェクト」
このプロジェクトは、「中高生のための特別な居場所」を中高生の皆さんと一緒につくる活動です。

ブロックで居場所をデザインしよう！

【企画概要】 机の天板をデザインする

第2回ワークショップでは、第1回で得た「**中高生がやりたいこと**」を叶えるために、**木製ブロック**を使い**机の天板**をデザインしました。

参加者の中高生は、実際に「中高生の居場所」となる空間を目の前にしながら、縮尺 1/10 の図面に机のデザインを書き込み、実際のブロックを並び替えながら、机の形や大きさ、使い方も考えました。



このワークショップに向けて、ミラノと千葉をつなぎながら準備を進めてきました。終了後に作品を拝見し、皆さんの自由で豊かな発想に驚きました。居場所づくりの実現に向けた、素晴らしいアイデアばかりでした！

千葉大学 いとじゅん博士（伊藤先生）

木製ブロックとは？

昨年度末に廃園になってしまった **中川幼稚園** で使われていたブロック役目を終えた 大型の木製ブロックを捨てずに再活用し、中川幼稚園での懐かしい思い出を残しながら、中高生の居場所を彩る家具に大変身させることとしました。

ブロックを材料に使うと…



リユース
環境にやさしい

思い出
が受け継がれる



実際のブロック



中川幼稚園

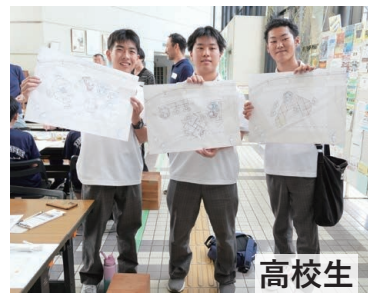
キャリアに繋がる学び

本プロジェクトでは、建築設計の工程を実践を通じて学ぶことができます。特に今回のワークショップでは、図面と実際の材料を用いて試行錯誤を重ねるという、プロの建築家も行う「**実施設計**」の核となる部分を体験してもらいました。

参加者の中には、建築分野に関心を持っている中高生もいました。今回の経験は、中高生の今後のキャリアに繋がる貴重な機会になったのではないかと考えます。



中学生



高校生

本プロジェクトの流れ

本プロジェクトは、実際の設計の流れを中高生にワークショップで体験してもらいながら、中高生自身が特別な居場所を創ります。

【第一回 ワークショップ】

基本構想・調査

【第二回 ワークショップ】

設計

【第三回 ワークショップ】

施工

やりたいことを「模型」で表現しました！

ブロックを使いながら、机のデザインを「図面」にします！

中高生がデザインした机を一緒につくりあげます！



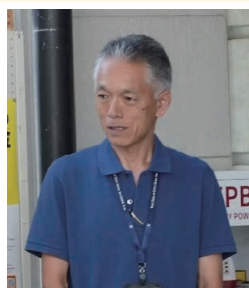
ご協力・ご取材いただいた関係者様



kurosawa kawara-ten
黒澤 健一 様



袖ヶ浦市議会 議長
小国 勇 様



袖ヶ浦市 市民生活部
金子 則彦 部長



地域新聞社
永原 英恵 様



千葉日报社 かずさ支局
岡田 正弘 様



読売新聞 木更津通信部
丸山 雅樹 様

第二回ワークショップの流れ

参加者構成… 平川中学校 1年生：2名 2年生：3名 3年生：2名 袖ヶ浦高校 2年生：3名

交流・調査

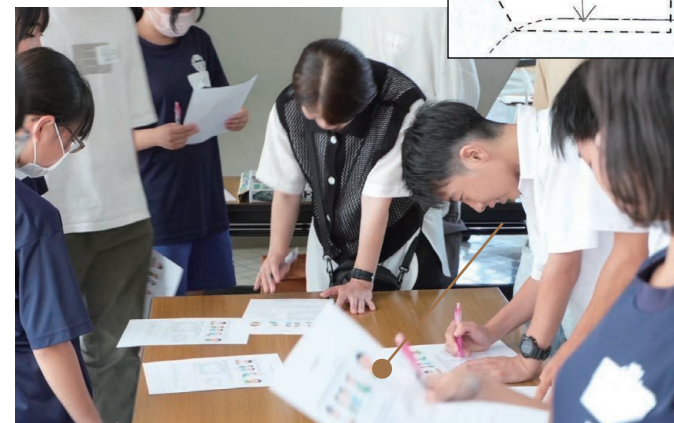
階段下の調査

実際に設計した机を置くスペースでどのような机を作るべきか想像を膨らませます。

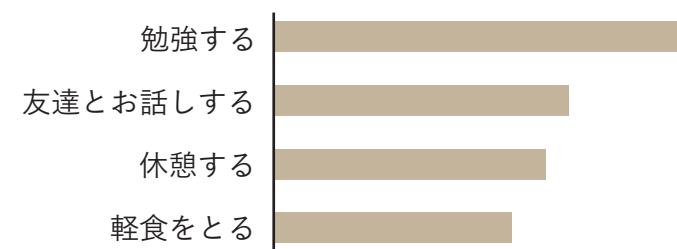


机の配置方法を検討！

どの向きにどんな大きさで？



このスペースで何をしたい？



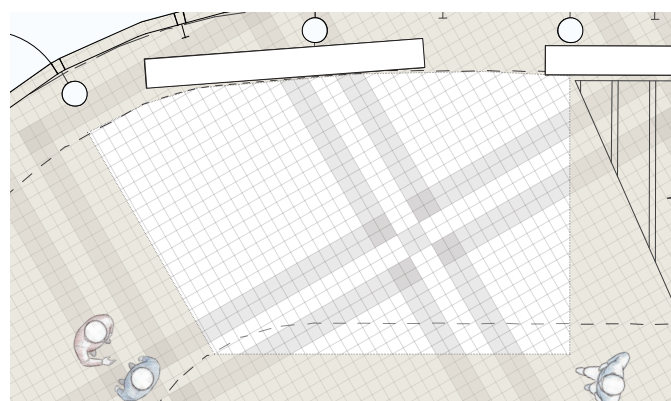
「中高生の居場所」でしたいこと
※優先順位で重み付けて評価

デザイン

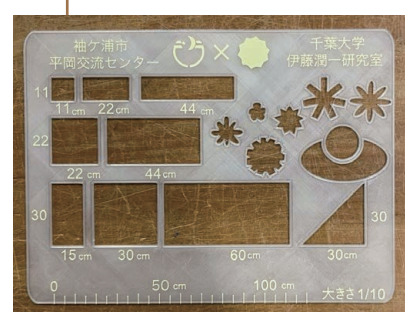
二つの縮尺の「往復」でデザインを考える

「実際の 1/10 の大きさの図面」で検討する時間と、「実際と同じ大きさのブロック」で確かめる時間を往復しながら、デザインを進めていきました。図面上で良いと思えた机のサイズも、実際にブロックを並べてみると印象が変わることがあり、図面を書き直していきました。この往復を通じて、最後にはしっかりとしたスケール感を感じられるようになりました。

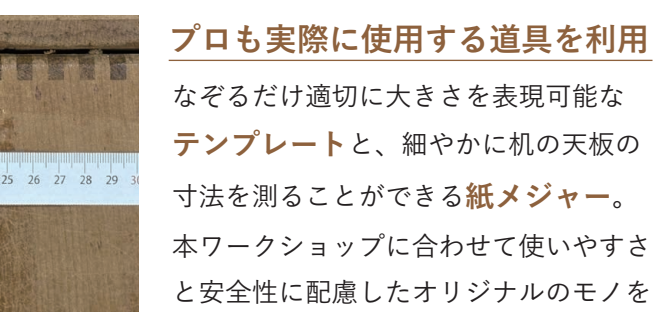
実際の **1/10** の大きさ
道具を使って図面で検討



実際と**同じ**大きさ
実際のブロックで検討



伊藤研オリジナルのテンプレート



紙メジャー

プロも実際に使用する道具を利用
なぞるだけ適切に大きさを表現可能な
テンプレートと、細やかに机の天板の
寸法を測ることができる**紙メジャー**。
本ワークショップに合わせて使いやすさ
と安全性に配慮したオリジナルのモノを
研究室で作成し、今回使用しました。

発表・完成

プレゼンテーション

最後には、自分が書き込んだ図面を見せながら、みんなにデザインを発表し、デザインの工夫点や机の検討の過程や想定する使われ方について共有しました。



発表後には中高生同士の意見交換も見られ、中高生にとっては、自分とは異なる視点や発想に触れることで、デザインの楽しさや難しさを感じる機会となりました。図面上でのデザインがより良い空間のデザインに直結することを、参加者自身が体感できるワークショップとなったと考えています。



当日の様子

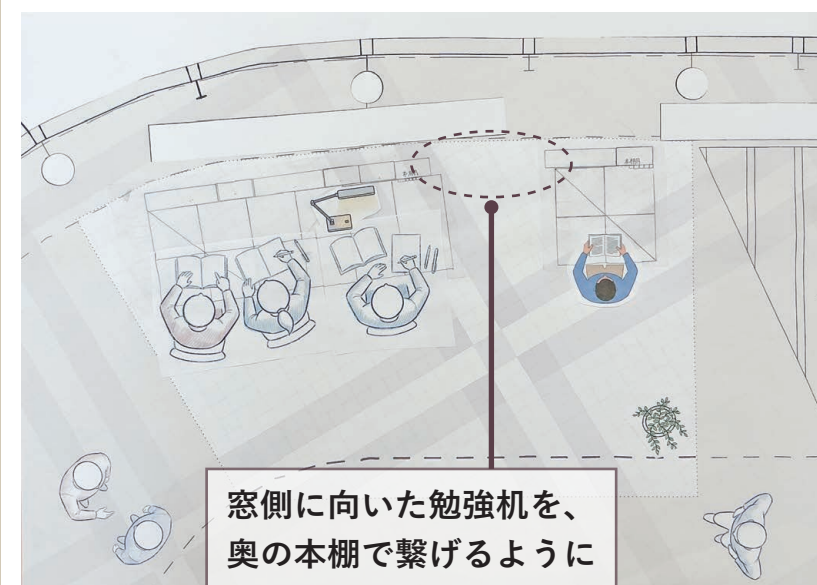
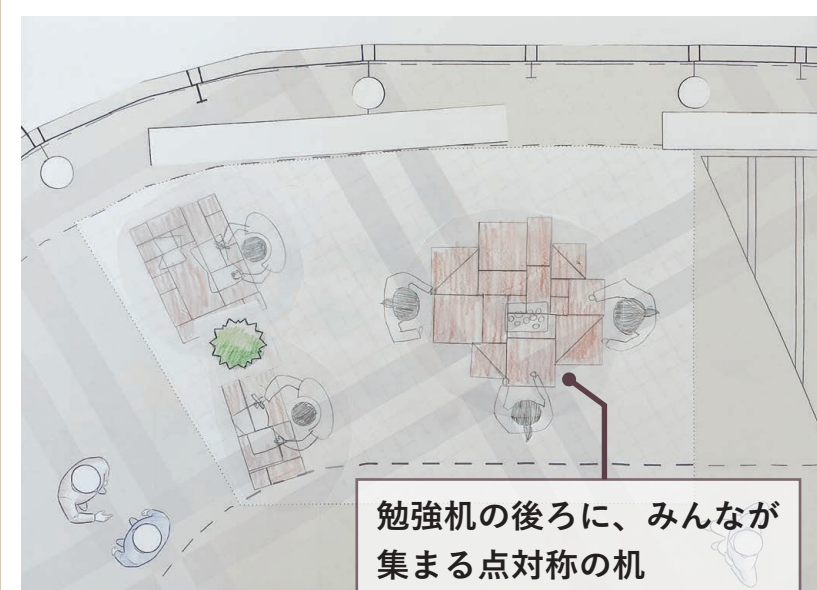
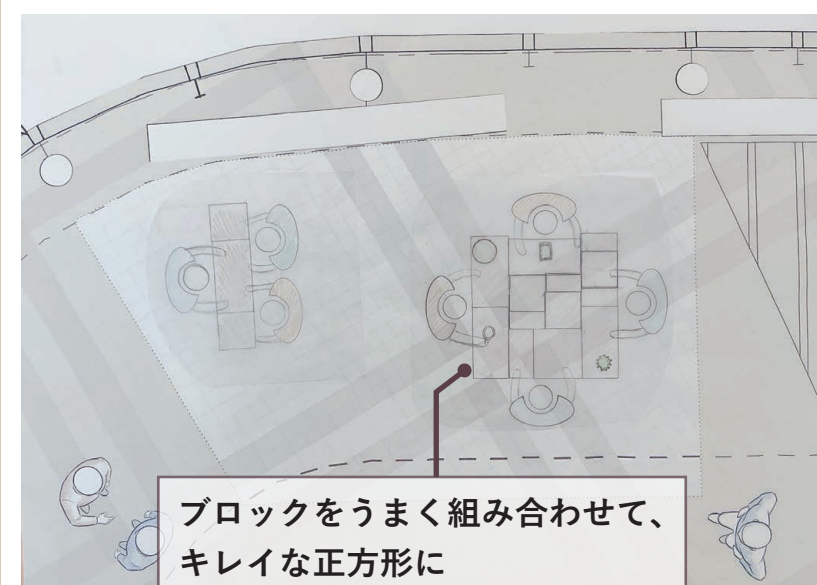
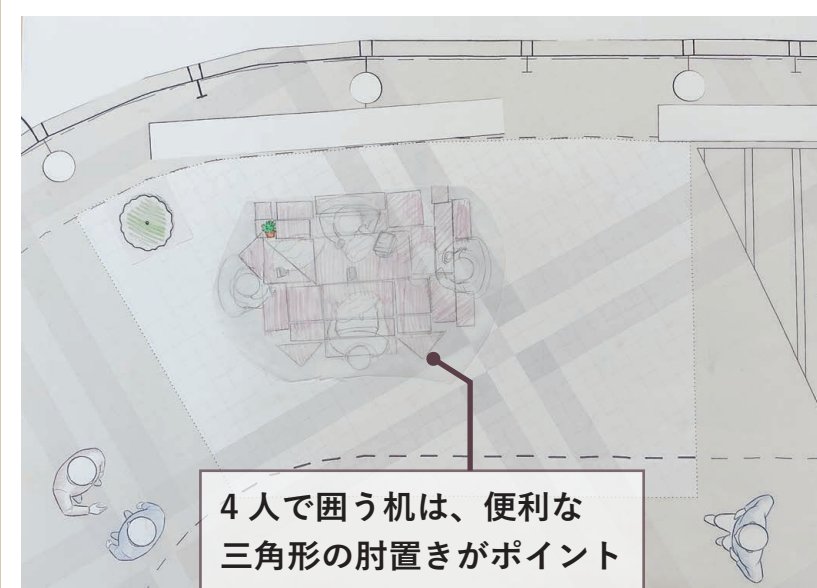
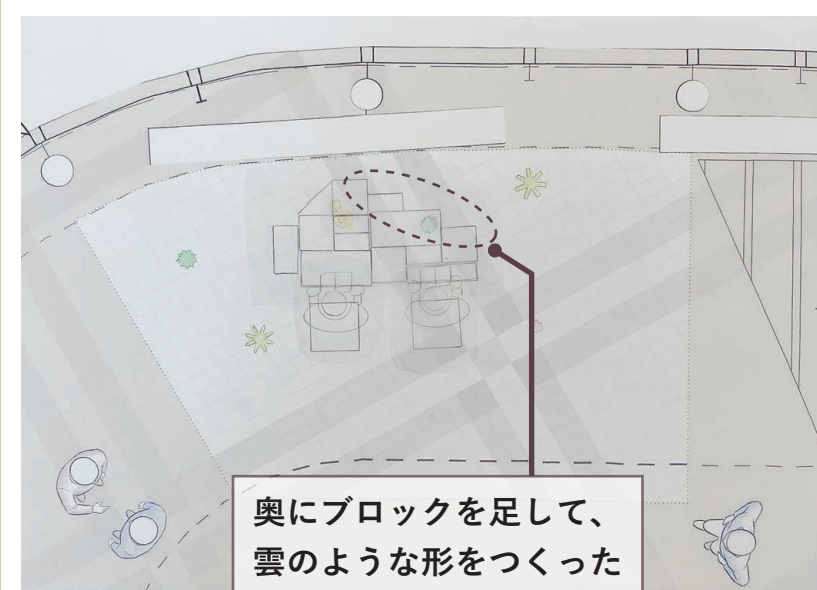
1/10 の図面で検討



実際のブロックで検討



完成図面



当日の様子



落ち着ける一人用の机を、
どの向きにどう配置するか検討

実際にタブレットを置いてみて、
使いやすい奥行きに

完成図面
大小さまざまなブロックを
組み合わせた

人目につかない窓側で、
友達とお菓子を食べたい

3人横並びで座れるように、
ブロックを追加して幅を広げる

完成図面
端に三角形を付けて、
手裏剣や金づちのような形

真ん中に大きな机を
配置することで、
多様な居場所を創りたい

休憩するには奥行きが足りず、
ブロックを付け加える

完成図面
1人でも大人数でも、
いろんな活動ができるように

机を囲んで集まって、友達と
ゲームをして休憩したい

三角形のブロックで、机を
使いやすいように拡張する

完成図面
角が丸みを帯びた、
キレイでおしゃれな形を

アンケート結果 - ワークショップを終えて -

Q1. 今日のワークショップは楽しかった。

そう思う 10%
とても思う 90%

Q2. 自分の意見やアイデアを図面に反映できた。

そう思う 30%
とても思う 70%

Q3. デザインすることの「面白さ」や「難しさ」を発見できた。

どちらともいえない 10%
とても思う 90%

Q4. 完成した場所は、自分たちにとって「大切な場所」になりそうだ。

あまり思わない 10%
どちらともいえない 20%
とても思う 50%
そう思う 20%

印象に残っていること（学んだこと・難しかったこと）

書くのと使う人では、認識が大きくことなるなと思いました
(中学3年 女子)

大きさのちょうせいがむずかしかった
(中学2年 男子)

縦に図をかくて、ブロックで机を再現するのが楽しかった。
建築が大変なことを知った。
(中学1年 女子)

デザインがきまった大きさのブロックなので、
組み合わせがうまくいなくて難しかった！
(中学3年 女子)

木の書き方などを学べた。実際の大きさなどを
しっかりと考えて書くのはとても難しかったと思いました。(高校2年 男子)

実際のものを使って大きさなどを確認できた。
(中学2年 女子)

自分で使いやすく考えて書くのが楽しかった。
(中学2年 女子)

机図形を作るのがむずかしかったです。
(中学1年 女子)